会長の時間　　令和５年１月２３日第２０７３回例会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会長　田中和俊

　イマジンロータリー！私の個人的なことですが、年末から年始にかけてとても楽しみなことがあります。それはテレビでのスポーツ観戦です。まずは大学ラグビーです。明治大学出身なものですから、ラグビー経験ゼロですが、在学中から明治大学ラグビー部の応援をしていました。関東大学対抗戦から始まり、特に早稲田大学との対戦は、俗に「早明戦」と言われ、大学生の時はよく国立競技場に観戦に行ってました。お正月に鹿児島に帰っても早めに上京して、大学選手権準決勝、決勝と国立競技場で応援していました。実は今回この原稿を書くにあたり調べたら優勝は２年生と３年生のときの２回でした。私の記憶では３回だったのですが、人の記憶なんてあいまいですね。もう３０年前のことですが、そのころから入場券はプラチナチケットで、社会人のファンは平日並べないから買えないというような状況だったと記憶しています。でもなぜか私にはチケットが同級生から回ってきていつも観戦できていました。チケットを確保してくれた同級生が誰かは忘れましたが非常に感謝しております。今年の関東大学対抗戦の早明戦は３５対２１で明治が勝ちました。もちろん嬉しかったのですが、嫌な予感がしました。嫌な予感はあたり、大学選手権では早稲田大学に２１対２７で負けてしまいました。テレビ中継はなかったので観戦できませんでしたが、ペナルティゴール２本差で負けてしまったようです。これで１月２日の大学選手権準決勝以降は見なくてすむことになってしまいました。決勝は帝京大学が早稲田に圧勝しました。これからまた帝京大学の時代が続くのかもしれません。

　もう一つの楽しみは駅伝です。１日の実業団駅伝と箱根駅伝。大学在学中はまったく興味がなかったのですが、ここ１０年くらいはお正月の楽しみです。息子たちの大学受験や家内の実家への帰省等で、見れたり見れなかったりでしたが、今年からはお正月の３日間、テレビの前に釘付けでした。昨年までは、長男の鶴丸高校での同級生の早稲田大学の山口賢助選手がいたので、普段はにっくき早稲田を応援していました。同級生といっても仲がいいとかそういのではありませんが。山口君は伊集院北中、鶴丸高校から一般入試で早稲田大学文学部に入学し、競争部に入部した努力家です。全日本大学駅伝と箱根駅伝で早稲田のアンカーをつとめました。卒業後はトヨタ自動車九州に入り、陸上競技を続けているようです。明治大学は１区で区間賞をとったので今年はいけると思ったのですが、ずるずると後退してシード権の１０位にも入れず、１２位で終わりました。まあ駅伝はそこまで期待していませんでしたので、純粋に各校の選手の頑張りを応援して、退任を発表された駒沢大学の大八木監督の指導者としての素晴らしい人間性を感じることができました。駒沢大学駅伝部のお互いの信頼関係のうえに成り立つ厳しさは、今の日本になくなりつつあるものではないでしょうか。選手は信頼した指導者に必死についていく、指導者は愛情をもって育てる。これが結果を出すスポーツ指導ではないかと感じました。高校サッカーを観ていても同様の感想を持ちました。